





どう？
きもちいい
冷めたらおしえて



…うん

スレッタ…
泣いてんの

ううん…
何でもありません



さて
次は背中を流そう



私にとって
一番の宝物なんだ

…うん

…ありがとう
心配させてごめんなさい



じゃあ、
パンツをぬいて
清拭をつづけよう

へー!?
ま…ままだって

ひん



あっ…

ん?
どうした

み…シオリネさん
ちよ…待って



あ…あのー





リラックスして

あまり考えなくて

任せればいい

これ…いいかも

でしょう

普段通りでいい

背中を流すのと
それほど変わらないから



安楽死ができる場所
探していただけますか

え

いや……でも、今ちょうど
進んでいるところじゃない

どうして急にそんな考えが……

本当にそうですか？

なんかもう……疲れているんです
肉体的なものではなく

毎回、新しい希望を見つけて
努力し

そして徐々に何も
変わらないと気づき

お互い口に出すことができません

もつと全体的な……
生きること自体？

また元に戻って
同じことを繰り返して



本当は、ミオリネさんも
知っていますよね

データストームによる壊れた
このからだか、

初日と比べて
まったく変わりがないです

あちこち連れて

大金がかかって

何が変わりましたか

し、しかし…
スレッタ…水星にはまだ
建てたい学校があるではないか

うん…でもわたしがいなくても
彼たち何とかやってくれるでしょう

今の私は、ただの足手まとい、
あるいは荷物です

もう少し…
頑張ってみようよ

ゆ…夢があるでしょう

スレッタ…



スレッタのためなら

我慢できると思った

あんな結果…



もう二度と…

スレッタ…あんたの言うとおりよ



わたし…わるものでいい

あのやぶ医者どもが、あんたの指一本すら
動くようになるのもできない



しかし…

今夜あなたち部屋からの
音が楽しみにしているよ

ちよつと黙ってくれる



ミオリネさん